

## 船舶事故等調査報告書

平成21年12月24日  
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2009那第58号	
事故等種類	運航不能（機関損傷）	
発生日時	平成21年7月20日（月） 09時10分ごろ	
発生場所	沖縄県 <sup>かみやま</sup> 神山島灯台から真方位136° 1.3海里付近 （概位 北緯26° 14.7′ 東経127° 36.3′）	
事故等調査の経過	平成21年7月24日、本インシデントの調査を担当する主管調査官（那覇事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報	船種船名、総トン数 プレジャーボート H-SLIDE' S、5トン未満（5.76m） 船舶番号、船舶所有者等 296-20311 沖縄、個人所有	
乗組員等に関する情報	船長、二級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定	
死傷者等	なし	
損傷	船外機の損傷	
事故等の経過	本船は、船長ほか2人が乗船し、釣の目的で、浦添市の浦添マリーナを 発し、慶伊瀬島 <sup>チービスン</sup> 向け航行中、平成21年7月20日09時10分ごろ、船 外機が異音を発生して停止し、再始動ができなくなった。海上保安庁に救助 を求め、巡視船にえい航された。	
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 南西、風力 2、視程 約40km	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	あり あり なし 船外機は、冷却海水ポンプのインペラが損耗し 冷却海水が不足して過熱したものと考えられる。 本船は、船外機の冷却海水ポンプの点検・整備 を適切に行っていなかった可能性があると考えら れる。
原因	本インシデントは、本船が神山南東方沖を航行中、船外機の冷却海水ポ ンプのインペラが損傷したため、冷却海水が不足して船外機が過熱したこ とにより発生した可能性があると考えられる。	